

# 小江戸川越の観光は、赤い制服のガイドに お任せ下さい!



観光ガイドのご案内で川越の素晴らしさが実感できます!

平成 29 年 4 月 1 日～

ガイド料金	人数と時間	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	※消費税込みの金額です。 ※料金に傷害保険は含まれておりません。
	10名様まで	1,800円	2,800円	3,800円	4,800円	5,800円	
	11～20名様まで	2,800円	3,800円	4,800円	5,800円	6,800円	

・ガイド1名で20名様までご案内できます。20名様以上の場合、ガイドは2名以上になり、人数を均等に分けてご案内します。  
 ・小中学生や障がいをお持ちの方が含まれる場合は、割引の制度がございますのでご相談下さい。  
 ・ガイド場所から遠く離れた地点で待ち合わせをする場合、その移動時間もガイド料金に含まれます。  
 ・食事時間はガイド料金に含まれませんが、1時間程度でお願いします。(その間、ガイドは待機となるため。)

## ◆モデルコース◆ (各名所について裏面を参照下さい。)

No	時間	ガイド区分	主なコース
1	1時間	名所ガイド	A. 喜多院(家光誕生の間、春日局化粧の間、五百羅漢含む) B. 川越城本丸御殿(家老詰所含む)・三芳野神社 C. 蔵造りの町並み(時の鐘、菓子屋横丁、蔵造り資料館含む) D. 仙波東照宮・中院 E. 川越城本丸御殿・川越氷川神社
2	2時間	名所の組み合わせ	A. 喜多院・東照宮・中院 B. 喜多院・川越城本丸御殿 C. 蔵造りの町並み・蓮馨寺 D. 喜多院・蔵造りの町並み
3	3時間		喜多院・川越城本丸御殿・三芳野神社・川越氷川神社・蔵造りの町並み
4	2～3時間	お好みコース	A. 七福神めぐり B. 伝説・妖怪ツアー(一番街、喜多院七不思議、川越城七不思議などから選択可) C. 川越城再発見(川越夜戦、幕末の川越などから選択可) D. 城下町北西部7ヶ寺めぐり E. 願い事めぐりツアー(所縁の神社・寺院めぐり) F. 桜と菜の花めぐり(浅間神社・愛宕神社・仙波河岸・龍ヶ池弁財天・中院 など) G. 西洋館めぐり(中心街の洋館、洋風建築物めぐり) H. 河越太郎重頼所縁の地めぐり(上戸日枝神社・鯨井八坂神社・長福寺・河越氏館跡地)
5	4時間		新河岸川舟運めぐり(上下新河岸・新河岸川・仙波河岸・愛宕神社・浅間神社)



(ガイド風景)

1. 博物館、美術館、蔵造り資料館、まつり会館、旧山崎別邸に入館する場合はガイド時間に含まれます。

2. 上記コース以外の組み合わせもご相談に応じます。

## ◆バス駐車場予約◆ (下記連絡先までお問い合わせください。)

- 市営大型バス駐車場 問い合わせ先：公園管理事務所 TEL 049-222-1301  
 ①初雁球場バックネット裏駐車場 ②公園管理事務所北側駐車場
- 民営のバス駐車場 問い合わせ先：川越市川越駅観光案内所 TEL 049-222-5556

## ◆主な施設の入館料◆(平成28年4月現在※1)

喜多院	市立博物館	市立美術館	川越城本丸御殿	蔵造り資料館(※2)	川越まつり会館	旧山崎家別邸
400円	200円	200円	100円	(100円)	300円	100円

※1 その他 21名以上の団体割引、ガイド御用命時の割引制度がございます。

※2 蔵造り資料館は耐震化工事のため平成31年春頃まで休館しています。

お問い合わせ先 **〒350-0824 埼玉県川越市石原町2-33-13**  
 公益社団法人 川越市シルバー人材センター TEL 049-222-2075  
 ホームページ <http://www.sic.ne.jp/kawagoe/> FAX 049-222-8973

## ～川越観光の見どころ～

	名称	概要
主 な 観 光 名 所	喜多院	天長7年(830)、慈覚大師円仁により創建された古刹。徳川家光誕生の間、春日の局化粧の間、五百羅漢像で有名な寺院で多くの重要文化財が保存されています。
	仙波東照宮	喜多院の南側にあり、日光・久能山とともに三大東照宮といわれています。現在の建物は寛永17年(1640年)に再建されたもので、隨身門から石鳥居、拝殿、幣殿、唐門、本殿まで全てが重要文化財に指定されています。
	中院	東照宮の南に位置し、昔は星野山無量寿寺、北院・中院・南院の中心であっただけに、堂前には見事な「しだれ桜」があり、四季折々の花が美しくぜひ参詣したいところ。島崎藤村が義母に贈った茶室「不染亭」が移築され、藤村書の「不染の碑」があります。
	川越城 本丸御殿	川越城は長禄元年(1457)、太田道真・道灌父子により築城されました。嘉永元年(1848年)建築された御殿の一部と家老詰所が保存されています。平成18年(2006)には日本100名城に選定されました。
	三芳野神社	三芳野神社は、川越城の鎮守として寛永元年(1624)後の城主酒井忠勝によって再建されたといわれています。この天神様は、わらべ唄「とおoryゃんせ」発祥の地といわれていますが、川越城内にあったため、一般の人の参詣はなかなか難しく、その様子が歌われていると伝えられています。
	蔵造りの町	蔵造りは類焼を防ぐための巧みな耐火建築で、江戸の町家形式として発達したものです。今の東京では見ることでできない江戸の面影をとどめています。平成11年(1999)12月に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。
	時の鐘	川越のシンボルと言われ、寛永年間に川越城主酒井忠勝が建てたものが最初で、現在の鐘楼は、明治26年(1893年)に起きた川越大火の翌年に再建されたものです。高さ約16メートル、1日に4回鐘の音を響かせています。平成8年(1996)に環境省の「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれました。
	菓子屋横丁	明治の初めから飴を主に製造していたが、関東大震災で被害を受けた東京に代わって駄菓子製造供給するようになり、昭和初期には70軒ほどになりました。現在は20数軒の店舗が連なり、横丁気分を満喫できます。平成13年(2001)には、環境省の「かおり風景100選」に選ばれました。
	大沢家住宅	寛政4年(1792)に建てられ、呉服太物を商っていた店蔵です。川越町(当時)の3分の1を焼失した明治26年(1893)の川越大火の際も焼け残り、川越の商人に蔵造りを建てさせるきっかけとなった建物の一つです。
川越氷川神社	欽明天皇の時代にさいたま市の氷川神社から勧請されたと伝えられ、江戸時代には川越城下の総鎮守となり、歴代の城主をはじめ城下の人々の厚い信仰を得てきました。嘉永3年(1850)に建てられた本殿は、川越まつりの山車の人形を主題にした彫刻がほどこされています。川越まつりは、同神社の神幸祭が起源とされていますが、平成28年(2016)ユネスコ無形文化遺産に登録されました。	
お 好 み コ ー ス	七福神めぐり	川越市内中心部を巡るほぼ6kmのコース。平成28年(2016)七福神めぐり30周年記念で全寺院に水琴窟を設置しました。
	伝説 妖怪ツアー	市内中心部の南部・北部・喜多院周辺・川越城周辺の4コースを用意。川越に伝わる妖怪伝説を紹介しながら歩きます。
	川越城再発見	「日本の三大夜戦の一つと言われている河越夜戦」や「激動の幕末の川越城」に焦点を充てた、歴史を満喫出来るコースです。
	城下町 7ヶ寺めぐり	旧川越城下町の周りを流れる新河岸川(赤間川)沿いに真行寺、東明寺、広濟寺、本心寺、観音寺、見立寺、大蓮寺があります。これらの寺に残る多くの歴史上の人物の物語を探ります。
	願い事めぐり	小江戸川越にはたくさんの神社・寺院があります。昔から、人々は、これらの神社・寺院に家内安全・縁結び・病気平癒等のいろいろな願い事をしてきました。この中から9ヶ所をめぐります。
	西洋館めぐり	川越は蔵造りの町並みが有名ですが、西洋の技術で建築された「西洋館」と日本の棟梁の苦心の作である「洋館風の建物」がバランス良く配置されています。それぞれの特長をご案内しながらのツアーです。
	桜と菜の花 めぐり(春限定)	浅間神社・愛宕神社・仙波河岸・龍ヶ池弁財天・中院などの名所を回りながら、新河岸川の桜と菜の花の饗宴を満喫します。
	河越太郎重頼 所縁の地めぐり	川越市の西部にある上戸日枝神社・鯨井八坂神社・長福寺・国指定史跡である河越氏館跡地などをめぐります。河越太郎重頼は平安時代末期に活躍した武将で、その娘は源義経の正妻でした。
新河岸川 舟運めぐり	川越の発展に大きく寄与した新河岸川舟運の上下新河岸・新河岸川・仙波河岸から、小仙波古墳群に建つ愛宕神社・浅間神社などをめぐります。	